

来光

第28号

浄土宗

迎 接 院

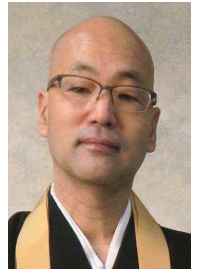
令和2年12月

はじめに 住職 伊藤信道

『^{らいこう}来光』第28号をお届けします。

3頁に特集を組みましたが、**迎接院のホームページ**がついに**完成**しました。

ホームページを作るにあたり、何もわからない私たちの想いを形にしてくださったのは「米子でホームページを作るならこの方！」と評判の素敵な3人。Web デザインを担当していただいた井澤ゆうかさん&桂藤陽子さん、素敵な写真を撮ってくださったタジキナミさんです。本当にお世話になりました。 合掌



1頁：はじめに、目次、浄焚会の案内

2頁：＜特集＞ 第3回 佛さまと弓浜手作り市の報告

3頁：＜特集＞ 迎接院ホームページ完成の報告

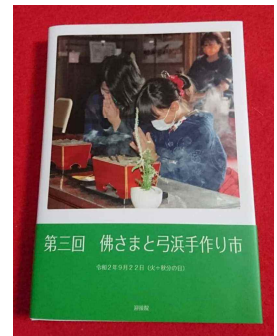
4頁：檀信徒紹介 朝参り 中本 寛子さん

5頁：選択集十六章之図解説、『選択集』第八章を読もう

6頁：今後の日程、諷誦会の案内、法話の会の案内

7頁：雨樋等修繕の報告、寺報への投稿作品募集

8頁：作品展・書道展の募集、春休み子ども寺子屋の案内、なむちゃん



じょうほん え 浄焚会のご案内

じょうほん え
浄焚会を下記の日程で行います。古くなつた^{とうば}塔婆や^{いはい}白木の^た位牌をお焚きあげします。

今年は平成30年にお亡くなりになった方の^{いはい}白木の^た位牌の焚きあげもします。たくさんの方の皆さんのお念佛でご供養しましょう。



○と き 令和2年12月12日(土) 午後2時～

○ところ 迎接院本堂・境内にて

※詳細は「迎接院のホームページ」にてお知らせします。

<特集> 第3回 秋彼岸 佛さまと弓浜手作り市

新型コロナウイルス感染症の影響で、開催が直前まで心配されました。昨年の台風襲来の際に中止・変更の連絡方法がなかったことから、今年はホームページを作成しLINEの公式アカウントも取得しました。県に緊急事態宣言が出ていないこと、市内に感染が広がっていないことから開催決定。三密を避けるために念佛行進や緋ウォークは中止。本堂での法要は人数制限、開催時間も短縮し、参加者



にはマスク着用や手指消毒をお願いしました。事前告知もあまりできなかったため参加があるか不安でしたが、子どもからご年配の方まで多くの方で賑わいありがたいことでした。



米子市夜見町の迎接院（伊勝信達住職）で22日、「仏さまと弓浜手作り市」が開かれ、先祖の衣だったかすりの着付けを体験したり手作り品を買い求めたりする住民らでにぎわった。先祖をしのんで仏様と縁を結び、地域の素晴らしさを再確認する場として開かれ、今年で3回目。法要で新型コロナウイルス感染症の収束を祈願した。新型コロナウイルス感染症防止のため恒例の念佛行進や「かすりウォーク」、本堂でのヨ

かすり着付け にぎやか

米子・迎接院で仏さまと弓浜手作り市

多彩な手作り品を買い求める人たち＝22日、米子市夜見町

ガ体験などは中止となったが、弓浜緋製品や野菜、花、エコたわしやシュシュといった手作り小物、焼きそば、唐揚げなどを販売する多彩な店が出店。にぎやかな雰囲気となった。着付け体験では、鶴や松などさまざまな絵柄のかすりを身にまとい、普段とは違う装いを楽しんだ。弓ヶ浜中3年の吉田優奈さん（14）は「かすりは伝統的な感じがする。涼しくて着心地がいい」と話した。（井川朋子）

今年も司会で盛り上げてくださった中岡みずえさん。実行委員として終始お支えいただいた當山の役員さんをはじめ、詠唱隊の皆さん。着付けボランティアをしてくださった美容師さんや交通指導員さん他有志の方々。



昨年より多く参加していただいた出店者の皆さん。中海テレビや日本海新聞さん。その他、携わってくださるすべての皆さんのご協力により、素敵なお一日を過ごすことができました。ありがとうございました。



ご縁をつなぐ窓口に～迎接院ホームページ公開～

前回の「来光」でもお知らせした迎接院のホームページですが、本編がついに完成しました。



トップ 迎接院の願い 迎接院について お知らせ 行事と活動 迎接院ブログ お問い合わせ



迎接院の願い
迎接院について
お知らせ
行事と活動
迎接院ブログ
お問い合わせ



このホームページには、迎接院のこれまでの歴史<過去>、行事や活動<現在>、願い<未来>のすべてがつまっています。

迎接院のご本尊様がどのようにしてやってこられたかは「ご本尊縁起紙芝居」で。毎日の活動の様子はFacebook(フェイスブック)等でもお伝えします。

トップページへ戻るボタンには迎接院の春の使者「ツバメ」さんが使われていて感激！素敵な写真とやさしいイラストが満載です。



けんさく
検索は kousyouin.com

ホームページ
はこちらから。



ページ
トップへ

愛別離苦の悲しみも
極楽浄土での再会を楽しみに

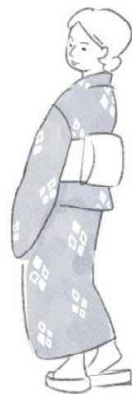
大切な方の死や、ご自身の死について、深く考えたことがありますか。

愛するものと別れる悲しみは、その苦しみの深さは、想像を超えたものでございましょう。しかし、阿弥陀様は、極楽浄土での再会をお約束くださっています。この世での死は、永遠の別れではないのです。

『阿弥陀経』という經典に、阿弥陀様の極楽浄土の素晴らしさが記されています。

お念仏を称え自分も極楽に往生し、先立たれた懐かしい方々と再会できる。そして、この世に残された大切な方々を極楽より護り導くことができます。

私たちは、生死を超えて、ともに生きていけるのです。



お檀家の皆様はもちろんのこと、たくさんの方とご縁をつなぐ窓口の一つとして、このホームページを活用していきたいと思っています。

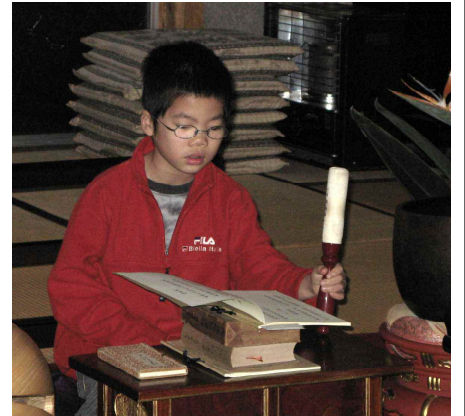
<檀信徒さん紹介> 朝参り 中本 寛子さん

夜見町1区にお住まいの中本寛子さんを紹介します。迎接院の一日は毎朝6時の^{ごんぎょう}勤行で始まります。中本さんはそのお勤めに毎朝必ず参加してくださいます。雪の降る寒い朝も、雨の降る日もです。その熱心さにはいつも本当に頭が下がります。所用のため



め欠席された朝はとても寂しいです。

始まりはいつだったでしょうか？晃希が小学校へあがった頃、私の留守には晃希がお勤めを行うのですがその時、晃希の応援の想いで参加して下さったように思います。それから現在までお参りは続いています。



晃希を、毎朝見守って下さったことは親としてとても有り難かったです。

大きな声でお経をとなえられ、本当にいい声が出るようになりました。「毎朝、本堂でお勤めするのは気持ちがいいよ」「一緒に参加しない」と仰り、現在は夜見2区の光木美佐枝さんも一緒にお参りされるようになりました。



中本さんは、寺子屋サロンや煎茶サロン、詠唱会など寺の活動すべてに参加いただいております。どれも尊いのですが、遠くや近くのご家族みんなの幸せを祈り、そしてまたご先祖様に想いを寄せながら



の朝参りのお勤めの姿は格別のものがあります。





選択集

第八章

念佛の衆生

必ず三心を具するの章

第八章段では、往生極樂を願う者は、^{しじょうしん}至誠心（まことの心）
^{じんしん}深心（深く信じる心）^{えこうぼつがんしん}回向発願心（善根の功徳を浄土に振り向
 けて往生を願う心）の三つの心（^{さんじん}三心）を具えるように説かれ
 ています。

図の左上、お名号をに向かって合掌している人を注目してく
 ださい。周りからの誹謗に惑わされず偽りのない心で阿弥陀様
 のご本願を信じる姿は「^{しじょうしん}至誠心」を表しています。

残りは「^{にがびやくどう}二河白道」と呼ばれる図です。南（上）に燃えさ
 かる火の川、北（下）に逆巻く水の川。その中間にある一本の
 白い道を一人の旅人（念佛者）が西に向かって歩いています。
 背後からは^{ぐんぞく}群賊などが呼び返す声が聞こえてきます。その時、
 東の岸からお釈迦様の「この道をゆけ！」とすすめる声、西の
 岸から阿弥陀様の「その道を来なさい。私が守り、河に落ちる
 ことはありません」と喚ぶ声かけられています。旅人はお釈
 迦様・阿弥陀様の呼びかけを信じ、脇目も振らずに白道を渡り
 きり、西の岸（極樂浄土）に往き生まれる（^{おうじょう}往生する）姿が
 描かれています。

釈迦は行け弥陀は来いよに中は我 押され引かれて参る極樂

今後の日程

- 12月12日 14:00~ 浄焚会 (じようほん え)
- 12月31日 23:45~ 修正会 (しゆしやう え)
- 1月25日 8:00~ 法話の会 (ぎよき (御忌))
- 2月15日 10:00~ 涅槃会 (ねはん え)
- 3月20日 10:00~ 諷誦会 (ふうじゆ え)
- 3月25日 8:00~ 数珠繰り (じゆずく)
- 3月25日 迎接院作品展 (～3月27日まで)
- 3月27日 桂小文吾落語会
- 5月8日 10:00~ 花まつり
- ☆毎月25日 別時念佛会
- ☆第1・第3金曜 詠唱会
- ☆毎朝6時 朝のお勤め

春彼岸・諷誦会のご案内

毎年恒例の春彼岸法要(諷誦会)を左記の日程で開筵致します。お揃いでご参詣の程、ご案内申しあげます。

◎とき 三月二十日(土・祝) 午前十時 開筵

先祖回向につきましましては、三月十四日までに申し込みください。初の彼岸(新諷誦)回向につきましては、別途ご案内申しあげます。

☆「諷誦文(回向文)」をお渡ししています。ぜひご先祖様にお供えください。



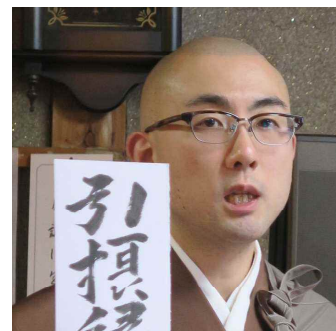
法話の会(御忌法要)のご案内

今年度の法話の会は、鳥取市用瀬大善寺のご住職 米村昭寛上人にご法話を賜ります。迎接院の法話の会にお越しいただくのは3回目となり、おなじみの御上人です。この日は、法然上人の810回目の祥月命日ですので、御忌法要(法然上人のご法事)として勤めます。新型コロナウイルスの影響もあり例年のような会食はできませんし、午前中一席の法要となります。

参加の方には鳥取教区が作成した特製クリアファイルをお贈り致します。皆様、お誘い合わせの上お出かけくださいますようにご案内申しあげます。

◎日時 令和3年1月25日(月)

午前10時～ お勤め
午前10時30分～ 法話



お寺の修繕工事を行いました

夏休み中、境内の掃除をしていると雨樋の受けが落ちていたのに気づきました。役員さんと相談し、業者に確認していただいたところ、開山堂や本堂裏・庫裏東側2階の雨樋と受けがかなり痛んでいることがわかりました。特に開山堂は道路に面していることもあり、大きな事



故に繋がりかねません。見積もりを取り、役員会を経て9月に改修工事に入りました。



痛んだ雨樋と受けは交換し、雨漏りの心配があった本堂の瓦を突き直し、ズレ止めをしていただきました。また開山堂屋根の雪止めを交換し、漆喰を補修していただき一安心です。



『寺報』への投稿作品 大募集

十月の法事の席で、お仏壇でのお勤めを終え、お茶をごちそうになっていた時のこと。久し振りにお元気な姿を見せてくださった内田千恵子さんが

「私も九十歳になりました。昔から短歌を詠んでおりますが、今日の法事に向けて三首作りました。聞いてくださいますか？」と仰り披露してくださいました。

数々の遺品残して逝きし夫(つま)

早七歳(しちとせ)の月日たつらん

海釣りの好きだった夫(つま)逝きてより

釣り竿だけが淋しく残る

数々の思い出遺して逝きし夫(つま)

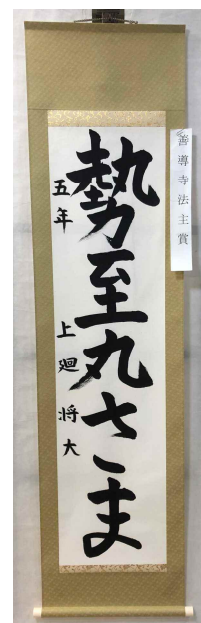
夢にたちませと夕べを祈る

先立たれた旦那様を想う素敵な作品に感激しました。日本海新聞の「日本海歌壇」に掲載された作品も見せていただき再度びつくりしました。

☆春の迎接院作品展の多彩さ・素晴らしさにいつも感心しております。この寺報でも少しずつ紹介したいと思います。作品の投稿大募集致します。

青少年書道展・迎接院作品展の作品大募集！

浄土宗児童教化連盟が主催する全国青少年奉納書道展に出品する作品を募集します。出品いただいた作品は総本山知恩院へ奉納いたします。(右の写真は前回金賞「善導寺法主賞」を受賞した上廻将大さんの作品です。) 迎接院作品展も行いますので、作品を2枚仕上げて出品してください。



迎接院の作品展 3月25日(木)～3月27日(土)

また上記の日程で迎接院作品展も開催します。迎接院作品展は大人の部も計画しています。書道や写真・絵画・手芸など沢山の参加をお待ちしております。

Hello! なむちゃん



春休み子ども寺子屋を開催します！

今年も恒例の春休み子ども寺子屋を行います。平日朝9時から1時間、学習の場を提供し一人学びを支援します。

参加は無料。希望の方は、ご連絡ください。

担当：伊藤 紀子 (☎29-0809)



☆春の状況がどうなっているかわかりませんが、夏休みと同じように①マスク着用②手指消毒③朝の健康状態の確認④人数制限⑤ホームページやLINEによる緊急連絡等を行いながら対応したいと考えております。

浄土宗HP (<http://www.jodo.or.jp>) より引用。